

(韓国版タイトル『世界の子どもの本と作家たち その50年の歩み』) 穂積 保

210mm×165mm 248頁 ソフトカバー、カバーイラスト：五味太郎

定価 19,000ウォン ハンリム出版社 2020年12月発行

《目次》

推薦文 (リュウ・チェスウ、カン・ウーヒョン) . . . . . 4  
はじめに . . . . . 8

第1部 こどもの本・日韓の歩み

第1章 日韓による絵本共同出版の歩み

(1) 1980年代の韓国の絵本 . . . . . 15  
(2) 韓国出版社との縁～ハンリム出版社に世界の絵本を紹介 . . . . . 22  
(3) 日本の絵本が韓国で出版されるまで . . . . . 28

第2章 日韓こどもの本の交流

(1) 日本における韓国絵本の出版状況 . . . . . 31  
(2) 2000年「オリエントの世界から 韓国絵本原画展」 . . . . . 36  
(3) 2010年「韓国の民画と絵本原画展」 . . . . . 39  
(4) 日本のベストセラーが韓国で出版される . . . . . 41  
(5) 未来のためにしなければならないこと . . . . . 48

第3章 韓国のこどもの本

(1) 韓国のこどもの本の夜明け～パン・ジョンファンとその後 . . . . . 58  
(2) 出会いのあった絵本作家の横顔 . . . . . 67  
カン・ウーヒョン、リュウ・チェスウ、イ・オクベ、クオン・ユンドク、ハン・ビョンホ、  
チョン・スンガク、イ・ホベク、イ・ヨンギョン

第4章 日本のこどもの本

(1) 戦後日本のこどもの本 . . . . . 76  
(2) 1970年代・日本の絵本の黄金期 . . . . . 89  
(3) 出会いのあった絵本作家の横顔 . . . . . 99  
堀内誠一、長新太、太田大八、赤羽末吉、安野光雅、さとうわきこ、田島征三、田島征彦、西巻茅子、  
山脇百合子、長野ヒデ子、和歌山静子、林明子、五味太郎、佐々木マキ、西村繁男、スズキコージ、あべ弘士、  
石津ちひろ、原ゆたか、黒川みつひろ、広瀬克也、こみねゆら、齋藤慎、瀬田貞二、石井桃子  
コラム 堀内誠一さんのこと  
コラム 長新太さんのこと  
(4) こどもの本 WAVE . . . . . 128  
コラム 「太田大八さんとこどもの本 WAVE」

## 第2部 世界の絵本作家たち

### 第1章 1980～90年代の世界のこどもの本の出版事情

(1) アジア地域の児童書翻訳出版事情	138
(2) 台湾のこどもの本	141
(3) 香港のこどもの本	145
(4) 中国大陸のこどもの本	147
(5) タイのこどもの本	154
(6) ベトナムのこどもの本	157
(7) デンマークのこどもの本	162
コラム 「現代によみがえるアンデルセン」	
(8) オランダのこどもの本	174
(9) フランスのこどもの本	178
(10) アイルランドのこどもの本	183
(11) イギリスのこどもの本	188
コラム 「ピーターラビットの絵本が古びない理由」	
コラム 「日本におけるピーターラビット商品化のはじまり」	
(12) アメリカのこどもの本	198
(13) ブラジルのこどもの本	202

### 第2章 世界の絵本作家の横顔

(1) 出会いのあった絵本作家の横顔	207
エリック・ブregヴァッド、エゴン・マチーセン、スヴェン・オットー、バーナデット・ワッツ、 市川里美、ブルーノ・ムナリ、ディック・ブルーナ、クヴィエタ・パツォウスカー、 ビネッテ・シュレーダー、リスバート・ツヴェルガー、マーガレット・ブロイ・グラハム、 エリック・ヒル、マーグレット・レイ、モーリス・センダック、ピーター・スピア、エリック・カール、 ミヒャエル・エンデ、イブ・スパング・オルセン	
あとがき	238
索引	240
収録文初出一覧	246
参考文献／写真出典等	247